

平成24年3月期 第1四半期

平成23年4月1日～平成23年6月30日

補足説明資料

平成23年7月29日(金)

デジタルアーツ株式会社

(証券コード 2326)

平成24年3月期 第1四半期連結会計期間の

売上高は、6億8千2百万円(対前年同期増加率約31%増)、
 経常利益は、1億9千7百万円(対前年同期増加率約39%増) となりました。

(単位:百万円)

連結	平成23年3月期	平成24年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期 増加率
売上高	521	682	31.0%
売上総利益	409	541	32.2%
営業利益	142	196	38.4%
経常利益	142	197	38.7%
当期純利益	82	108	31.3%

売上原価と販売費及び一般管理費の状況

売上原価は1億4千百万円(対前年同期増加率約27%増)、
販売費及び一般管理費は営業・マーケティング組織拡充の実施により、
3億4千4百万円(対前年同期増加率約29%増)となりました。

(単位:百万円)

連結	平成23年 3月期	平成24年3月期			
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期 増減率	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	111	141	26.7%	29	
労務費	56	77	36.8%	20	組織強化のため
減価償却費	32	32	2.6%	0	
他勘定振替 その他製造原価	22	30	35.6%	8	海外拠点構築等
販売費及び一般管理費	267	344	28.9%	77	
人件費	143	160	12.0%	17	組織強化のため
宣伝広告費	22	50	126.0%	28	テレビCM実施
その他	102	134	31.4%	32	営業費用の増加

➤ 企業向け市場

- 昨年11月に販売開始した「D-SPA」の受注が順調、今後収益の柱の一つに
- 6月にメールアーカイブ機能を強化した「m-FILTER」ver.3を発売
- 東日本大震災の影響が残る中、更新需要が順調に拡大

➤ 公共向け市場

- 官公庁から大型複数年案件を受注し、前年同期に対し大幅な売上増を達成
- 東日本大震災の影響は想定を下回り、新規・更新需要とも好調

➤ 家庭向け市場

- 長野で初のテレビCMを、加藤清史郎くんを起用し放映するなど、プロモーションを強化
- 6月に任天堂のWii、DSiに引き続き3DSに標準搭載されるなど、ゲーム機、タブレット端末等多様な端末への搭載を推進
- 昨年12月に発表したスマートフォン向け「i-FILTER」の開発も順調に進んでおり、β版のリリースを第2四半期に行う予定（Android版については7月20日発表済）
- TVやゲーム機からの販売やダウンロード販売による売上は増加

平成24年3月期 第1四半期市場別売上高(連結)

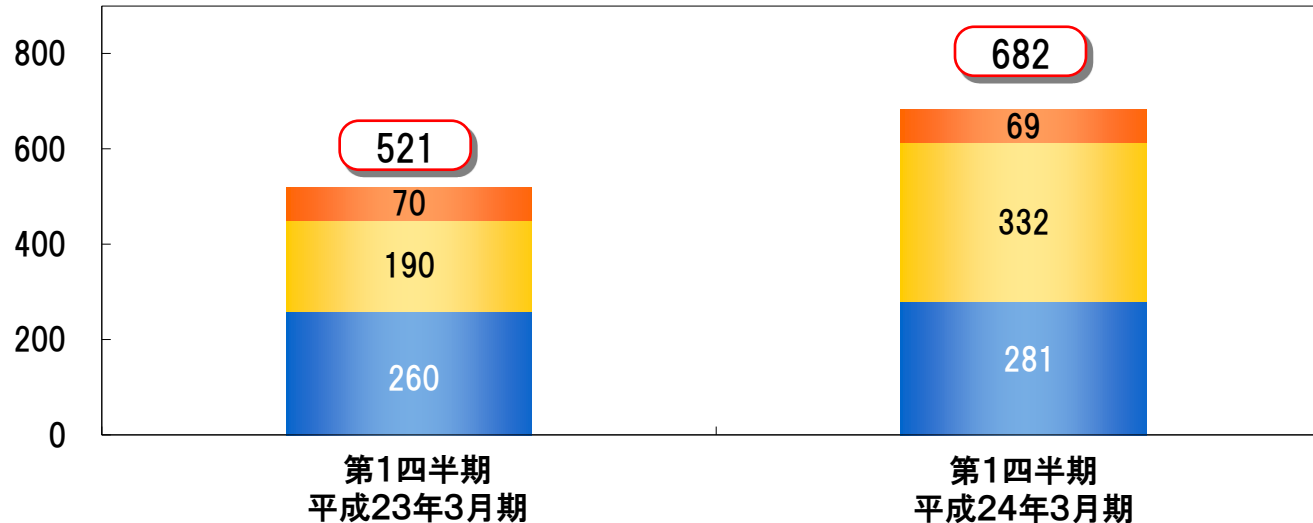
(単位:百万円)

連結	平成23年3月期	平成24年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期増減率
企業向け市場	260	281	8.2%
公共向け市場	190	332	74.0%
家庭向け市場	70	69	△1.4%
合計	521	682	31.0%

(単位:百万円)

市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



平成24年3月期 業績予想の修正について

今回の業績等を踏まえ、平成23年5月9日に公表した平成24年3月期第2四半期連結累計会計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の連結業績の予想を下記の通りに修正致します。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,090	125	125	70	511.57
今回修正予想(B)	1,299	310	311	173	1,270.57
増減額(B-A)	209	185	185	103	
増減額(%)	19.2	147.4	147.5	147.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	1,103	329	329	190	1,385.40

修正の理由

当期の公共向け売上は、震災の影響が想定より下回ったことに加え、大型複数年案件の受注により期初予想を上回る見込みとなりました。また、当社全体の営業利益、経常利益、四半期純利益ともに売上高増加により期初予想を上回る予定です。

なお、通期連結業績予想については、東日本大震災等が及ぼす不透明な経済活動全般の状況を考慮して平成23年5月9日の通期予想を据え置くことと致します。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

(注)上記の業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しが変動する可能性があります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。